

12月定例会

平成25年度の一般会計補正予算、条例改正
など15議案を可決(同意)しました。

補正予算

16億7,493万3,000円を追加する平成25年度一般会計補正予算を可決したほか、3件の特別・企業会計の補正予算を可決しました。

一般会計補正予算の主なものは、平成25年7月から実施している職員給与と特例減額に伴う職員給与費の減額、現在市が直営で行っている可燃物収集業務の一部(水田町・水主町1丁目などの収集コース)を平成26年度から民間事業者に委託するための債務負担行為の追加、競艇事業収入の一部を子育て支援や少

子化対策などの財源として基金に積み立てることも夢基金積立金、市内の電柱等に設置してある老朽化した町名表示板を新たに製作し取り替える町名表示板整備事業などです。

可燃物収集業務委託については、審査を行った都市環境委員会では、複数の収集コースを同じ業者が請け負うと危機管理上の問題があると思われるので収集コースごとに業者を選定することについて質問を行い、今後は、危機管理上の問題も考え、同一業者に偏らない方法での委託を進めたいとの答弁がありました。こども夢基金積立金については、審査を行った経済厚生委員会では、積立金の額について質問を行い、ポート場の建替えにより4年間は、モーターポート競走事業会計からの繰入が見込めないことから、同会計からの繰入金8億円のうち子育て支援などの事業に必要な4年分の事業費5億6,000万を積み立てるとの答弁がありました。

町名表示板整備事業については、審査を行った総務文教委員会では、町内の広さや世帯数などを考慮に入れて表示板を割り振るよう意見が出されました。

特別・企業会計補正予算の主

